

体育・スポーツのインクルーシブな共生世界の 未来を考える

会場 | Zoomウェビナーにて開催 定員 | 500名

主催：日本スポーツ体育健康科学学術連合 (JAASPEHS)
共催：日本体育・スポーツ・健康学会 (JSPEHSS)

【無料・要事前申込】

後援：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、
公益社団法人全国大学体育連合、特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー、
全国体育系大学学長・学部長会

13:00 – 開会挨拶 阿江 通良 (JAASPEHS代表、筑波大学名誉教授)

13:10 – 全体趣旨説明 清水 紀宏 (JAASPEHS運営委員長、筑波大学教授)

※ 本フォーラムの
開催趣旨は裏面
をご覧ください

基調講演

13:20 - 14:20

インクルーシブなスポーツ世界へ

～トランスジェンダー選手の参加の権利を手がかりに～

來田 享子 (JAASPEHS副代表、中京大学教授)

シンポジウム

14:25 - 16:45

新時代のスポーツ・プロフェッショナル育成システムを考える

：体育・スポーツ・健康科学分野における教育の質保証に向けて

松尾 哲矢 (立教大学教授)
阿江 通良 (筑波大学名誉教授)
長積 仁 (立命館大学教授)
菊 幸一 (国土館大学特任教授)

コーディネーター：清水 紀宏 (筑波大学教授) 指定討論者：來田 享子 (中京大学教授)

16:45 – 全体総括 宮地 元彦 (日本学術会議第二部; 連携会員、早稲田大学教授)

スポーツ体育健康科学 学術フォーラム

兼 日本スポーツ体育健康科学学術連合第5回大会

体育・スポーツのインクルーシブな共生世界の 未来を考える

生物多様性に端を発するダイバシティへの対応は、今や、様々な組織・社会の健全性を考える際のメインファクターとなっている。このことは、体育・スポーツのコミュニティにおいても例外ではなく、多様なカテゴリーの人々をスポーツ・コミュニティに包摂するための理念や方策について、各国・各種団体等々において、真摯な議論が深められ適宜、個別の対応がとられるようになってきている。

本フォーラムでは、スポーツを通じたインクルーシブな共生社会の構築に向けてスポーツ・コミュニティ内部における多様性の包摂と共生（スポーツにおける共生）をいかに実現し、「競争・効率原理」と「共生・公正原理」の相互補完・同時達成への道すじについて、学際性・総合性を特徴とする体育・スポーツ科学の教育を通じたスポーツ・プロフェッショナル（スポーツ文化の後継者）の育成問題と関連付けながら検討する機会としたい。

基調講演

インクルーシブなスポーツ世界へ

～トランスジェンダー選手の参加の権利を手がかりに～

来田 享子（中京大学教授）

シンポジウム

新時代のスポーツ・プロフェッショナル育成システムを考える

～体育・スポーツ・健康科学分野における教育の質保証に向けて～

- 体育・スポーツ・健康科学系大学・学部における入試制度の多様化と人材発掘の課題 – 特に、多様性の確保について
松尾 哲矢（立教大学教授）
- 体育・スポーツ人材の養成カリキュラムと教育の質保証について
阿江 通良（筑波大学名誉教授）
- スポーツ専門人材の職業キャリアの多様化
長積 仁（立命館大学教授）
- プロフェッショナル育成に学会は何ができるか？何をすべきか？
– 中学校「体育理論」から社会人大学院までを見通して –
菊 幸一（国土館大学特任教授）

コーディネーター 清水 紀宏（筑波大学教授） 指定討論者 来田 享子（中京大学教授）